



【事業計画会議】

出版業界にイノベーションを _____ 03・04

【健康経営優良法人2023】

健康経営の取り組みについて _____ 05

【マーケティングNEWS】

広報活動におけるストック型ストーリー発信基地
「Category Leading Media」(カテゴリ・リーディング・メディア)
出版社発の新しいオウンドメディアサービスが始動 _____ 06

【書籍紹介】

『だから僕たちは、組織を変えていける』が
「ビジネス書グランプリ2023」部門賞1位に!

<新刊ができるまで>

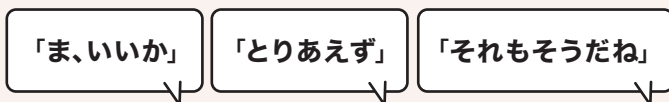
なぜいま「地味な投資法」に担当編集者が注目したのか? _____ 07

【ビジネス書出版社社長のたまにはまじめな話】

vol.29 AI(人工知能)とNI(自然知能) _____ 08

「明るい」は最高の人生戦略! 仕事、人間関係、恋愛、家庭…
“ぶすっとした顔”をやめるだけでうまくいく。

この3つの口癖があると人生が激変します!



＼読者からのメッセージ続々!／

*明るく前向きでいるようにしたら友達がたくさんできた。

*ポジティブ思考に変換したら

メンタル面でだいぶ強くなりました。

*とても読みやすく、読んだ後ポジティブになれた。

2¹⁰刷
2万部
突破!

ご購入はコチラ!



『なぜか人生がうまくいく「明るい人」の科学』/和田秀樹(著)

出版業界にイノベーションを

3月31日、クロスメディアグループは第18期下期事業計画会議を東京体育館の大会議室にて行いました。関西支社のメンバーやこの春に入社するメンバー含め、半年ぶりにリアルの場に集まりました。

半年に一度の事業計画会議では、

- ・新しいメンバーの紹介
- ・グループ全体と各事業部の上半期の業績報告と振り返り
- ・グループ全体と各事業部の下半期の事業戦略の発表
- ・ワークショップ(経営課題に関するグループワーク)

を行っています。

代表の小早川は、テクノロジーの積極的な導入により、現場起点の編集技術の開発と運用を進めていくこと、そして出版業界の未来への意志を語りました。





また、午後のワークショップでは「新商品・サービス開発」をテーマに、5つの分野で12のグループに分かれ、それぞれのグループが表現性の高い商品・サービス内容を企画し、発表しました。

ワークショップ5つの分野

- ・Amazon限定商品
- ・オウンドメディア開発(カテゴリ・リーディング・メディア)
- ・出版新カテゴリ
- ・海外向け出版企画
- ・法人向け健康事業新規サービス

本会議を終え、グループ全体で足並みを揃えることができたと共に、個々人それぞれの目的・目標がより明確となりました。18期下半期は、個人と組織の力をさらに高めていくことで、顧客・社会に価値提供できるよう、グループ全体で努めて参ります。



当日の様子はこちらの
ブログ記事にてご覧いただけます



健康経営の取り組みについて

クロスメディアグループでは、「メディアを通じて人と企業の成長に寄与する事業を行い、社会に新しい価値を提供する」というビジョンのもと、書籍出版による健康知識の提供や疲労回復専用ジム「ZERO GYM」の運営を行っています。

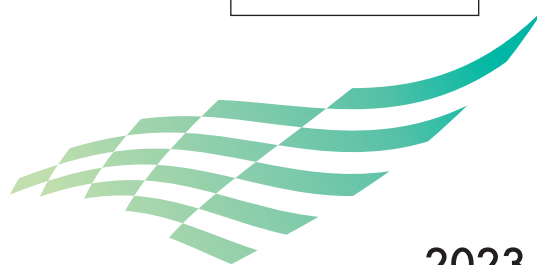
この度、社内外に対して、健康知識と体験の両方を提供しているクロスメディアグループの取り組みが評価され、株式会社クロスメディア・パブリッシングと株式会社クロスメディア・マーケティングの2社が「健康経営優良法人2023」に認定されました。



健康書の出版・フィットネス事業・朝の瞑想&ストレッチ等の社内の取り組みが評価対象に

＜ 当社の取り組み事例 ＞

- 01 疲労回復専用ジムZEROGYMによる、瞑想・自重トレーニングプログラム提供
- 02 健康に関する書籍出版
- 03 自社フィットネスインストラクターによる朝の瞑想・ストレッチ・座学研修など
 - ※グループ会社のインストラクターが全社員に向けて、毎週火曜日と木曜の朝には15分のマインドフルネス瞑想、水曜には15分のストレッチの時間を用意。
- 04 働き方(委員会活動・リモートワークなど)
 - ※社内委員会を設置し、健康増進のための活動をしています。
- 05 医師に24時間健康に関する質問ができるwellness for bizの導入
 - ※企業の専属医師にチャットで相談できるシステムです。



2023 健康経営優良法人

Health and productivity



健康経営優良法人とは

地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優れた健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。

健康経営優良法人認定制度ポータルサイト



【忙しい人事担当者向け】健康経営で行なう企業ブランディング

忙しい人事担当者向け

30分でわかる! **健康経営で行なう企業ブランディング**

中小企業こそ健康経営を

CONTENTS

- ① 健康経営の概要・メリット
- ② 健康経営の始め方、事例紹介
- ③ 座りながらできる簡単ストレッチ

実践ストレッチ

肩・首

編

疲労回復専門ジム ZERO GYM
インストラクター
健康経営アドバイザー
隈明日美

4.26 (wed) 14:00-14:30 オンライン 50名 リアル 10名

健康経営の近況、健康経営の取り組み事例などを含め、30分に凝縮した内容を健康経営をサポートするジムインストラクターが経験も踏まえながらレクチャーをします。「時間がない人事ご担当者」や「社内広報ご担当者」の方も、お気軽にご参加ください。最後にオフィスで実践できる健康ストレッチも紹介します。

お申し込みはコチラ!

2023年4月26日(水) 14:00~(30分)
参加費無料/
リアル対面・オンライン配信 (Zoom)



広報活動におけるストック型ストーリー発信基地 「Category Leading Media」

(カテゴリ・リーディング・メディア)

出版社発の新しいオウンドメディアサービスが始動

「フロー型広報活動」から「ストック型広報活動」へ

クロスメディアグループは、ビジネス書出版社グループとして培った企画力・編集力と専門家ネットワークを活用し、広報活動におけるストック型ストーリー発信基地としてのオウンドメディアサービス「Category Leading Media (カテゴリ・リーディング・メディア、通称CLM)」を2023年3月14日より始動いたしました。

CLMは「ストーリーとテクノロジーのチカラで運命の出会いと可能性を創る。」をミッションとするクロスメディア・マーケティングが提供する新しいオウンドメディアサービスです。顧客企業とユーザーの間に運命の出会いを創るために「ストーリー性」「専門性」「権威性」「信頼性」のあるコンテンツをデジタル空間上(オウンドメディア)に蓄積していくことにより、特定のカテゴリやキーワードをリードするオウンドメディアづくりを行っています。

「ストーリー」の力で、新たな顧客との出会いをつくるオウンドメディア

デジタル情報の供給過多により、マーケティング・コミュニケーション活動や広報・PR活動において、「情報が流れ去ってしまい目につきにくい」という実情があります。ストーリー性がない情報は人の記憶に残らないからです。一方で、企業から発信される情報の背景には、想い・情熱と共しかけがえのない行動が存在しています。CLMでは、出版社の編集力によって商品やサービスの背景にある想い・情熱・行動が込められたストーリーにしていいため、人の記憶に残り、誰かに語りたくなるものになっていきます。

発信した情報やメディア掲載された情報が流れ去ってしまうフロー型の広報活動から、広報活動にストーリーを実装し、記憶に残るストーリーが積み重なっていくストック型の広報活動を可能にする「ストーリーの発信基地」を持つことで、マーケティング活動、広報・PR活動、採用活動の可能性を広げていきます。



Category Leading Media

CLM (カテゴリ・リーディング・メディア) の詳細情報はこちら



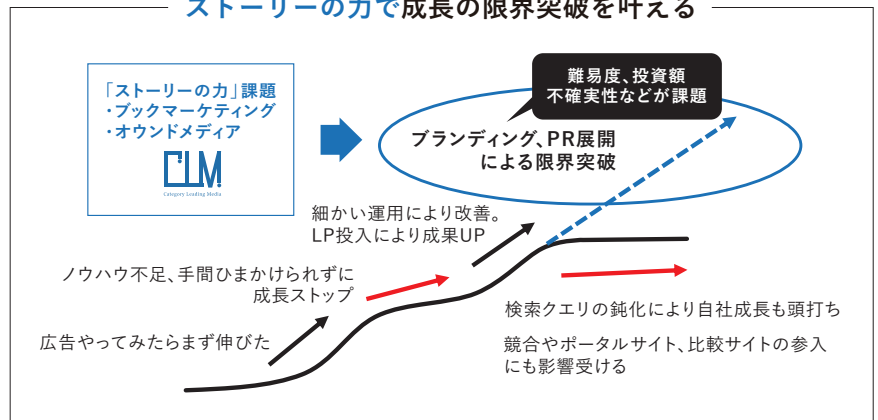
お問い合わせはこちら

<https://cm-marketing.jp/contact/>

「Category Leading Media」の特徴

- 特徴 01 Googleの検索品質評価ガイドライン「E-E-A-T」に沿った良質なコンテンツ
- 特徴 02 特定のカテゴリ・キーワードをリードするオウンドメディア
- 特徴 03 企業ブランディング、対外的PR活動に貢献するオウンドメディア

ストーリーの力で成長の限界突破を叶える



【パワーUPして再公演!】中小企業が知っておくべき「ストーリーブランディング」とは?

広告効果 8倍に!?

中小企業が知っておくべき「ストーリーブランディング」とは?

ブランドの成功にストーリー(物語性)が必要な理由

4/27(木) 16:00- 無料オンライン配信

GROSS MEDIA MARKETING

「ブランディング」には様々な手法がありますが、中でも「ストーリーブランディング」と呼ばれる方法は、会社や商品に物語性を付与することで、顧客の中に強いブランドを構築する方法です。ブランディングを考える前に、まず「ストーリーがもつ重要性」について立ち返り、ブランドの中核を作っていくヒントにしていれば幸いです。

- 内容
- ・ブランディングにおけるストーリーの重要性
 - ・ストーリーブランディングの具体的な手法 など

お申し込みはコチラ!

2023年4月27日(木) 16:00~(60分)
参加費無料/オンライン配信(Zoom)



書籍紹介

『だから僕たちは、組織を変えていける』が「ビジネス書グランプリ2023」部門賞1位に!

クロスメディア・パブリッシングの出版書籍『だから僕たちは、組織を変えていける』が、「読者が選ぶビジネス書グランプリ2023」(以下「ビジネス書グランプリ」)のマネジメント部門で第1位、全体(計118冊のノミネート作品の中)でも第3位に選ばれました。

今年度のビジネス書グランプリのマネジメント部門は、稲盛和夫『経営12カ条』、永守重信『永守流 経営とお金の原則』、安藤広大『数値化の鬼』、松岡保昌『こうして社員は、やる気を失っていく』など、著名経営者の書籍やベストセラーなどがひしめく激戦区。その中で、『だから僕たちは、組織を変えていける』は第1位を受賞することができました。

「読者が選ぶビジネス書グランプリ2023」は、該当年度に発売されたビジネス書の中から読者(=ビジネスパーソン)が投票を行い、総合グランプリと各部門賞を決定するもので、今回が第8回となります。



今回の受賞作品はこちら



「このたび、編集を手がけた『だから僕たちは、組織を変えていける』が、「読者が選ぶビジネス書グランプリ2023」のマネジメント部門第1位を受賞しました。総合でも第3位となり、たいへん感激しています。投票してくださった皆様、本書を読み、広めてくださった皆様、そして本書に関わってくれたすべての人にお礼申し上げます。そして、読者の方々が選ん

でくれたというのが、嬉しいのです。この本は言ってしまうと、これまでのマネジメントの否定です。上からの指示を現場に下ろし、数字で管理して、必達を叫ぶ。でも、そんな環境で長く働きたいと思える人は、少ないでしょう。これからの時代に必要なのは、「人」の力を発揮した、共創によるイノベーションです。国も、人材を「資本」と捉えて投資の対象とし、その

価値を高めることによって企業価値を高めていく「人的資本経営」を推進しています。チームのコミュニケーションを創出して、意識づけによってモチベーションを高めていく。本書の受賞を機に「マネジメント」の意味がそんなふうに変ってくれたらと、願っています。

編集者・石井一徳の受賞メッセージ

新刊ができるまで

なぜいま「地味な投資法」に担当編集者が注目したのか？

Twitter人気アカウント「配当太郎」氏が年間100万円の配当金を手に入れる3ステップを徹底解説する『年間100万円の配当金が入ってくる 最高の株式投資』(配当太郎・著。今回、本書の編集担当(坂口雄一朗)に、本書をつくるきっかけや、自身の投資経験などについて語ってもらいました。

企画のきっかけは？

通常、景気が良いときは、10倍株などの株価が上がるのを狙った派手な株式投資が人気になるのですが、世の中が不況になり、株価が下がると投資スタイルも変わります。マネー系の雑誌などでは定番になっているように、景気が悪くなれば、配当株が目される傾向があります。去年から株価が下がっていますが、そのような世の中の流れと投資スタイルの傾向をふまえた上で、本書を企画しました。

本づくりはどのようにスタートしましたか？

著者の配当太郎さんのことを知ったのはTwitterです。当初、フォロワーは1万人台でした。配当太郎さんの発信内容には常に「貫性があり、配当株投資の良さを広めよう」という強い意思を感じました。「ご興味があればぜひ、お話できませんか」というTwitterのDMを送り、良いお返事をいただいたので、その後Zoomで打ち合わせをしました。予想していた通り、配当株投資の良さを発信していきたいという思いを強く感じました。そこで『せひ(書籍づくりを)始めましょっ』という感じになりました。

編集部 坂口雄一朗

全文はこちらからお読みいただけます



ビジネス書出版社社長のたまには じめな話

Vol.29 AI (人工知能)とNI (自然知能)

1995年当時、これから勃興していくだろうDTP (Desk Top Publishing) やインターネットの最前線に身を置くために出版社の門を叩いた、というのが私の編集者としてのキャリアのスタートです。そういうこともあって、実は書籍を編集することよりも、最先端の実用技術に触れる仕事の方が興味があります。

約10年前から、ビジネスでのAI (Artificial Intelligence) 技術の活用が注目されるようになりましたが、最近までのAIビジネスは「画像解析」が中心で、当社が求める「自然言語」のAI技術は実用にはほど遠いレベルでした。

しかし、昨年後半から米国OpenAI社が一般に提供し始めた大規模言語モデル「GPT」により、自然言語技術AIは実用レベルまで劇的に進化し、世界中で熱狂的な話題となっています。

膨大な学習データにより、次に来る単語を高い精度で予測して繋ぎ、専門的な文章を瞬時に生成することができるようになりました。このAIを活用することで、ビジネスでは企画、制作、営業、プログラミングといった仕事の効率化と強化が図れます。

そんな中、当社では次の4つの技術とノウハウを高度化することで、全社AI活用時代の中で競争優位を実現していきます。

- ①ファインチューニングでAIに人格と役割を与える
- ②長文生成のAI技術を開発し、書籍制作期間の短縮を図る
- ③AIが8割生成、NIが2割を編集し、質と量の最大化を実現
- ④責任の所在をはっきりさせることがビジネスチャンスに

以上の技術で、これまでの音声認識によるテキスト化や文書翻訳、コピーライティングだけでなく、記事や原稿など文章の作成も高いレベルでできるようになり、コンテンツ制作や編集作業の効率化と品質の向上が期待できます。

当社は今、テクノロジー企業にはない、これまで培ってきたNI (Natural Intelligence) による編集ノウハウと1,000冊の書籍データ、500名の専門家の知識を活用し、AIとNIを融合した編集技術を開発しています。

人間にしかできない創造的な仕事に注力するために、AIとNIのワークフローを極め、常に最先端の技術を活用しながら生産性と品質を追求していきます。

AIがつくる未来は、よりいっそうに人間の知能が重要になっていくことでしょう。

クロスメディアグループ代表 小早川幸一郎



Next issue

次号の「クロスメディア」は7月15日に発行します。
Web版クロスメディアも随時更新中! ぜひご覧ください。

採用情報

クロスメディアグループは共に働く仲間を募集しています。 公式採用サイト ▶
募集職種: 書籍編集/コンサルティング営業/デジタル marketer/その他

